

[1]実践事例

[2]タイトル:プレゼンテーション能力の育成

[3]概要

- a)家庭科の必修科目「生活一般」を発展させた「生活課題探究」における取り組み。
- b)校内ネットワークを活用した研究活動における情報活用能力の育成
- c)プレゼンテーション技術の習得による主体的な学習態度の育成

[4]キーワード:プレゼンテーション意思伝達能力主体的な学習態度

[5]学校区分:高等学校

[6]学年:3年生選択生徒

[7]教科:家庭科・生活課題探究

[8]学校名(U R L):高知県立安芸高等学校

<http://www.edu.net-kochi.gr.jp/home/aki-h.html>

[9]授業者名:西岡智子

[10]授業実施期間(月日、時間):平成11年度～平成12年度(2年間)

[11]単元・題材名:

[12]単元の目標

[13]メディア活用の意義

- a)主体的に情報収集する態度の育成
- b)効果的なプレゼンテーション技術の習得
- c)意思伝達能力の育成

[14]メディア環境

a)使用機種:FUJITSU FMV-DESKPOWER SIV207

b)稼働環境:OS Windows95

CPU MMX テクノロジPentiumプロセッサ200MHz

メモリ64MB

c)利用ソフト:Microsoft Office

□指導目標

家庭生活や社会生活における問題点を把握し、自ら課題を設定し、その解決を図る学習を通じて、専門的な知識と技術の深化・統合化させるとともに、問題解決能力や自発的・創造的な学習態度の育成を図る。

□生徒の実態

本校は、高知県の東部に位置する安芸市にあり、普通科・文理科・商業科の3科各学年2クラスが設置された、全校生徒約650名の中規模校である。

豊かな自然環境のなかで育った生徒は、素朴で他人に対して優しいが、社会体験や生活体験の不足も例外ではなく、また、自分の意見を他人に伝えるという伝達能力に乏しいという面

がみられる。

[15]単元の指導計画

月	指導内容	学習内容	指導上の留意点	時間
4	オリエンテーション ・講座決定 ・テーマの決定	・家庭生活や地域における問題点を調べ、研究テーマを決める。	・無理のないテーマ設定に留意させる。 [分野例] 家庭経営・食生活・衣生活・住生活・保育・情報等	4
5	計画	・テーマに沿った年間の研究計画を設定する。	・問題解決の方法を具体的に考えさせる。	2
6	調査・研究の実施	・計画に沿って実施する。	・調査や研究を生かして、問題点を分析し、その対策を立てさせるよう指導する。	14
7	中間報告	・研究成果の中間報告を発表する。	・研究成果の中間報告を行うことで、今後の研究活動の方向性を探らせる、研究活動の修正等を行わせる。	2
9 10 11	調査・研究の実施(図1)	・中間報告後の研究活動をすすめる。	・修正した画に沿った研究をすすめさせる。 ・ネットワークを活用した資料の収集に留意させる。	20
12	まとめ ・研究成果レポートの作成 ・発表資料作成	・研究活動をまとめ、問題点や今後の課題について、まとめる。 ・研究成果発表会にむけて、発表資料を作る。	・年間の活動内容や研究内容を簡潔にまとめたレポート作りに留意させる。 ・デジタルコンテンツの利用や効果的なプレゼンテーションづくりに留意させる。	
1	研究成果発表会(図2)(図3)	・研究の成果を発表する。	・効果的なプレゼンテーションを行うことで、自分の研究成果を表現できるよう留意させる。 ・他人の研究成果を聞き、問題点を把握し自分の知識になるよう、考えさせる。	



(図1)



(図2)



[17]学習活動の実際: 本年次の生徒の研究テーマ

福祉分野	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康と食事 ・もし、家族が・・・ ・痴呆の予防 ・聴覚障害について ・視覚障害者のための情報
保育分野	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの好き嫌いについて ・増え続ける児童虐待 ・子どもが喜ぶ絵本作り ・男性の子育て
食物領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーブについて ・医食同源 ・お茶の魅力 ・高齢者の食事の工夫

[18]授業の成果(生徒の反応、メディア活用の効果等)

文書作成や情報収集についてはこれまである程度の経験があるため、特に指導の必要は無かったが、自分の意見を発表する機会が少なく、プレゼンテーションの経験のない生徒にとって、ネットワークを活用して収集した情報をもとに作成した表やグラフを統合的に活用したプレゼンテーションを行うことで、情報技術を活用した意思伝達能力の育成が図れたのではないかと考える。

[19]ワンポイントアドバイス

授業実践における今後の課題として以下の2点をあげる。

イ) 個人の設定したテーマを研究・実践し、プレゼンテーション資料を作成する場合、客観的な視点にたった資料の準備を行い、プレゼンテーションの実施に努めるよう留意させる。

ロ) 収集した情報を単に利用するだけでなく、それらを発展させ、自ら作成したものの利用についても考えさせる。

平成15年度より実施される学習指導要領に記されている「生きる力の育成」のためにも、自分の意見を持ち、相手に伝える能力の育成は大きな意味を持つと考える。本授業においては、生徒個人の興味・関心にあった内容を、自らの視点でとらえ、調査・研究していくという、生徒にとっては大変な学習内容ではあるが、「達成感や充実を味わえた」という感想が得られた授業であった。ネットワーク環境をうまく活用し、主体的に学習する態度の育成に努めたいと考える。

[20]参考資料・参考URLなど(協力者、協力団体含む)

高等学校学習指導要領解説家庭編文部省平成12年3月